

保証書

この製品は厳密な品質管理および検査に合格し、製造出荷された製品です。しかし通常のご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた場合は保証規定に従い保証いたします。

《保証規定》

1. 本機の取扱説明書、本体貼付の注意ラベル等に従った正しい使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理いたします。お買上げの販売店に商品の本保証書とともにご持参ください。また送付を希望される場合は送付先を販売店にご確認ください。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となり、実費にて申し受けます。
 - (a) お取扱いの不注意及びお客様ご自身による修理改造が原因の故障または損傷。
 - (b) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障または損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、落雷などの天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などによる故障または損傷。
 - (d) 本保証書のご提示がない場合。
 - (e) 本保証書に品番、製造番号、お買上げ年月日、お客様名、住所、販売店名の記入がない場合、あるいは記入内容を改ざんされた場合。
3. 万一、ラミネート加工に失敗した場合やラミネート加工により原稿が損傷し再生不能となった場合でも、原稿に対する保証は致しかねます。
4. 本商品はお客様にお持ち込み、またはご送付頂く修理となっております。修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費など、またご郵送される場合の郵送料金及び諸掛かりは、お客様のご負担となります。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only for Japan.

※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理等については、お買上げの販売店又は弊社にお問い合わせください。

品番	NQL-202A3	製造番号		
保証期間	お買上げ	年	月	日より6カ月間
お客様	ご住所 〒	_____		
		TEL _____		
販売店	住所・店名・TEL _____			

★販売店様へ：必要事項をご記入の上、お客様へお渡しください。

ナカバヤシ株式会社

お客様相談室 受付時間 / 土・日・祝日を除く
TEL: 0120-166-779 10:00~12:00/13:00~17:00
<https://www.nakabayashi.co.jp/>

QUICK LAMI 4HS
Personal Laminator

Nakabayashi

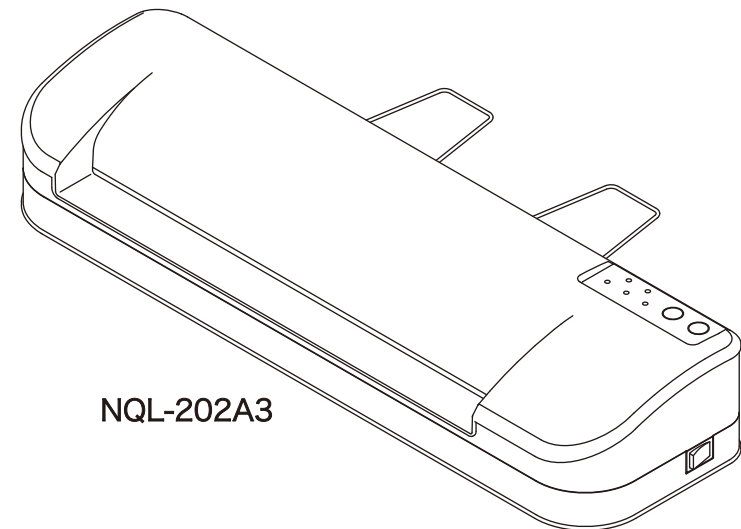
パーソナルラミネータ
クイックラミ 4HS
NQL-202A3

取扱説明書

●保証書付●

この度は、パーソナルラミネータ クイックラミ4HSをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この「取扱説明書」は本機の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。
- 本機の性能を十分発揮させ、安全で効果的なご使用をしていただくためにも、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にご利用ください。



NQL-202A3

PERSONAL LAMINATOR

目次

目次・梱包内容の確認 P.1

安全上の注意事項・機械の設置上の注意事項 P.2~3

各部の名称と働き P.4

ラミネートについて・ラミネートする前のご注意 P.5

ラミネートを行う① ~ラミネートフィルムの準備 P.6

ラミネートを行う② ~ラミネータの準備 P.7

ラミネートを行う③ ~ラミネートの開始・終了 P.8

フィルムづまりや巻き込みのトラブル P.9

ローラークリーニングお知らせランプ・ローラークリーニングの方法 P.10

故障かな?と思ったら トラブル時のチェックポイント P.11~12

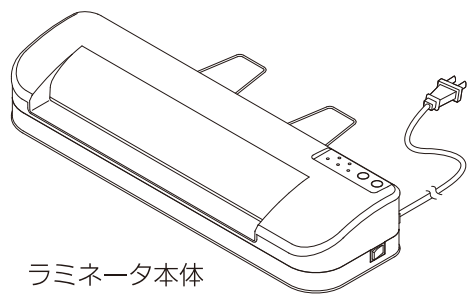
ラミネートQ&A・本体のお手入れ P.13

主な仕様 P.14

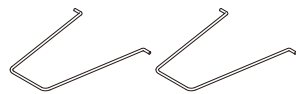
保証書 裏表紙

梱包内容の確認

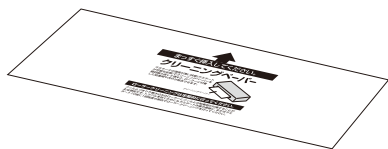
下図のとおり、本体および付属品が同梱していることをご確認ください。



ラミネータ本体



ワイヤータイブトラー
(2本1セット)



クリーニングペーパー (1枚)












取扱説明書/保証書 (本書)







主な仕様






品番	NQL-202A3
本体寸法	W470×D135(230)×H80mm ※()はワイヤータイブトラーを含む
本体重量	約 3.5kg
最大ラミネート幅	340mm(最小は名刺サイズ)
最大ラミネート厚	0.6mm(フィルムと原稿を合わせた厚み)
対応フィルム厚	100μm(薄紙・厚紙) 150μm(薄紙・厚紙) 250μm(薄紙)
電圧・周波数	AC100V(50/60Hz)
消費電力	1400W(50/60Hz) ※ウォームアップ時の最大値(平均約 300W)
ラミネート速度	約 820mm/分(50/60Hz) ※フィルム選択が 100 薄のとき (フィルム選択により速度は異なります)
ウォームアップ時間	約 60 秒(50/60Hz) ※室温が約 25℃の場合
温度設定	約 145℃
コードの長さ	約 1.5m
主要材質	ABS樹脂・スチール
付属品	ワイヤータイブトラー クリーニングペーパー(1枚)


●ラミネート速度により若干モーター音が大きくなる場合がありますが使用上の問題はありませぬ。
 ※仕様の数値は使用条件などにより変化する場合があります。
 ※改良のため予告なく仕様・外観を変更することがあります。
 ※本製品は業務用ではありません。

	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	お子様だけの使用や乳幼児の手の届く所での使用は避けてください。やけど・感電の恐れがあります。
	本機の分解や改造はおやめください。ケガや感電の恐れがあります。
	本機に水などの液体をかけないでください。感電や故障の原因になります。
	電源コード・プラグを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因になります。
	機械のすき間に異物を差し込まないでください。火災や機械の故障の原因になります。
	機械の内部や外部の掃除等に、可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。
	発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、弊社または販売店にご相談ください。
	コードに触れて通電したりしなかったりする場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグを抜いて弊社または販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。

⚠注意 ●機械のご使用上の注意事項

	使用中の機械上部およびラミネート直後のフィルムは大変高温になっています。やけどに十分ご注意ください。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等の巻き込まれる危険のある物は、フィルム挿入口に近づけないでください。巻き込まれてケガをする恐れがあります。
	長時間機械をご使用にならない場合は、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ラミネート作業中はそばを離れないでください。
	ラミネート以外の用途に使用しないでください。事故や故障の原因になります。
	30分以上連続で使用しないでください。30分経過後は「クールダウン」または電源スイッチを「切」の状態でも20分以上休ませたあと再度ご使用ください。
	本機を電源が入ったまま約30分ご使用されなかった場合は、自動電源オフ機能が作動し「ピー」と鳴ってクールダウンの状態になります。さらに約5分経過すると電源が切れます。再度ご使用になる場合は、電源スイッチを「切」にしてから再度「入」にして電源を入れてください。

症状	原因／処置
・仕上がりが白っぽい	→ ご使用になるフィルムに合わせてフィルム厚を選択してください。  P.7
・密着性が悪い	→ フィルム選択ランプが点滅の状態ではラミネートしていませんか？ランプが点灯してからフィルムを挿入してください。  P.8 → 原稿が厚いと原稿の周囲の余白部分がしっかり密着しない場合があります。
・フィルムにシワ（縦方向）が発生する	→ 原稿が極端に薄すぎると、フィルムに熱がかかりすぎてシワが発生する場合があります。  P.6 → 原稿の紙質によっては、熱による収縮によってシワが発生する場合があります。 → 湿気を含んだ原稿では正しくラミネートできません。 → 厚手の原稿に150 μ m以上のフィルムを使用すると、十分に密着しない場合があります。100 μ mのフィルムをご使用ください。250 μ m以上のフィルムでラミネートできるのは薄紙のみです → 反り・折れ・シワのある紙はきれいにラミネートできません。 原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。  P.6 → フィルムは原稿よりも2～5mm大きいものをご用意ください。  P.6 → フィルムを挿入口に無理に押し込んだり、排出口から無理に引っ張ったりしないでください。 → 排出口から出てきたフィルムは速やかに取り出してください。放置するとフィルムの端が熱で折れたりシワになります。 → エアコンの冷風や温風が直接本機にあたらないようにしてください。 → 100 μ mおよび150 μ mのフィルムは弊社製品のご使用をおすすめします。フィルムの特性が合わないとき正しくラミネートできない場合があります。 → 本機の連続使用時間は30分です。30分経過後は「クールダウン」または電源スイッチを「切」の状態でも20分以上休ませたあと再度ご使用ください。

 いずれの異常もなく、正しくご使用いただけない場合には電源を「切」にして電源プラグを抜き、弊社または販売店にご相談ください。

ラミネートについて

ラミネート

ラミネートとは、バック式のフィルムに原稿をはさみ込み、熱とローラーの圧力で原稿に接着することです。一度に両面がラミネートされます。

特長

- ・ラミネートするとフィルムがプラスチックのように丈夫になり、原稿を水・汚れ・傷等から守ります。また、偽造防止効果も高まります。
- ・原稿をフィルムにはさんでラミネータに通すだけの簡単操作で、美しいラミネートが可能です。

ラミネートできないもの

次のようなものはラミネートしないでください。

紙以外の物  金属・木片・布等 その他、先端が尖った物や折れ曲がっている物等	クレジットカード等の磁気カード 	熱により変色・変質する物  感熱紙・クレヨン画等	可燃物・軟化しやすい物  セロハン・ビニール製品等
--	--	---	--

注意

昇華型熱転写プリンタで印刷した原稿をラミネートすると、時間が経って像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

ラミネートする前のご注意

一度ラミネートした物をはがしたり、やり直したりすることはできません。また、誤った使用方法によりラミネートを失敗すると、フィルムがつまって故障の原因になる場合があります。ご使用方法に従い正しくお使いください。

注意

- ・たった一枚しかないような大切な物はラミネートしないでください。
- ・本機の使用による原稿等の破損・損失につきましては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

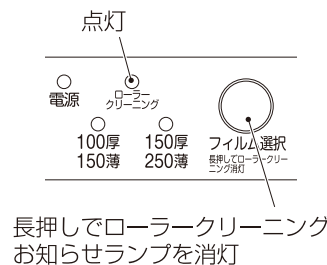
ローラークリーニングお知らせランプ

フィルムづまりや巻き込みはフィルムからはみ出した粘着剤がローラーに付着することが主な原因で起こります。そのようなトラブルを防ぐためにも定期的にローラークリーニングすることを知らせてくれるランプがローラークリーニングお知らせランプです。ローラークリーニングお知らせランプは以下のような場合に点灯します。ランプが点灯中でもラミネートをすることは可能ですが、フィルムづまりなどのトラブルを防ぐためにもランプが点灯したときは、ローラークリーニングを行うことをおすすめします。

- ローラークリーニングお知らせランプが点灯するとき
- ・ラミネート10枚後
- ・オートリバース機能作動後
- ・ローラー逆転後

ローラークリーニング終了後は、フィルム選択ボタンを長押し(約2秒間)して、ローラークリーニングお知らせランプを消灯させてください。

※ローラークリーニング終了後にローラークリーニングお知らせランプは自動で消灯しません。



ローラークリーニングを行わないと...

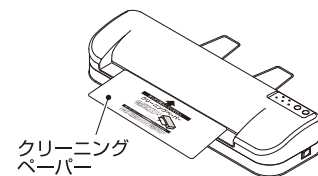
- ・フィルムづまりや巻き込みが起きる
- ・フィルムの先端が折れてラミネートされる
- ・ラミネートした物に汚れ(白い線)が付着する

▶ このようなトラブルを防ぐためにも、定期的にローラークリーニングを行うことをおすすめします。

ローラークリーニングの方法

●クリーニングの方法

ラミネータの温度が高い状態(通常のラミネートが可能な状態)で、付属のクリーニングペーパーをフィルム挿入口から入れてください。これを数回繰り返すと、ローラーに付着した粘着剤が取り除かれ、ローラーがクリーニングされます。



●クリーニングを行う頻度

ラミネート作業が一通り終了するごとに、また一度にたくさんラミネートする場合は10枚に1回の割合でローラークリーニングを行ってください。また、オートリバース機能作動後とローラー逆転後にもローラークリーニングを行ってください。

※ローラークリーニングお知らせランプはラミネート10枚後、オートリバース機能作動後、ローラー逆転後に点灯します。

注意 クリーニングペーパーはまっすぐ挿入してください。斜めに入れると機械内部でつまり、故障の原因になります。

クリーニングペーパーがなくなったら

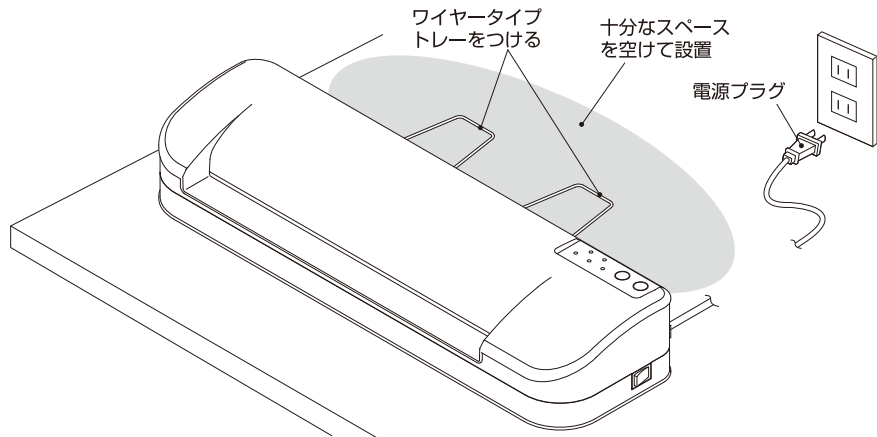
付属のクリーニングペーパーは繰り返しご使用いただけますが、汚れがひどくなったり、紛失した場合には厚紙(無地)で代用することができます。ただし、プリンターやコピー機で出力された物やコーティングされている物は避けてください。

ラミネートを行う②

ラミネータの準備

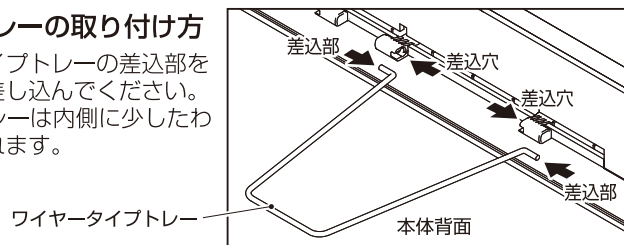
- 1.ラミネータを設置します**
- ・ラミネータを水平な場所に設置します。
 - ・電源プラグをコンセントに差し込みます。

注意 ラミネータの後ろのスペースを十分に空け、ラミネートされて出てきたフィルムが壁等の障害物に当たらないようにしてください。



ワイヤータイプトレーの取り付け方

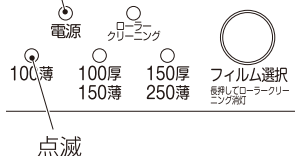
付属するワイヤータイプトレーの差込部を本体背面の差込穴に差し込んでください。
※ワイヤータイプトレーは内側に少したわませると取り付けられます。



2.電源スイッチを「入」にしてフィルム選択ボタンでフィルム厚を選択します



点滅→点灯



フィルム選択ボタンで使用するフィルム厚(下記参照)を選択するとランプが点滅しウォームアップが開始します。

- 100薄 - 100 μ mフィルム+薄紙
- 100厚 / 150薄 - 100 μ mフィルム+厚紙または150 μ mフィルム+薄紙
- 150厚 / 250薄 - 150 μ mフィルム+厚紙または250 μ mフィルム+薄紙

- 原稿の例
- 薄紙(約0.08mm) - コピー用紙・カタログ・雑誌等
 - 厚紙(約0.23mm) - 写真・ハガキ・画用紙等

ラミネートを行う③

ラミネートの開始

- 4.フィルム選択ランプが点灯するまで待ちます**
-
- ・約60秒後に「ピー」と鳴ってフィルム選択ランプが点滅から点灯に変わります。
 - ウォームアップ時間について
時間は室温等により異なります。
 - ※内部のローラーが加熱されるため、ゴムのにおいが発生しますが、使用上の問題はありません。

- 5.フィルム選択ランプが点灯したらフィルムを挿入します**
-
- ・原稿をはさんだフィルムをサイズ表示を目安にしてフィルム挿入口からまっすぐに入れます。ローラーにフィルムがあたると自動的に送り込まれます。
 - ・フィルムを強く押し込まないでください。先端が折れ曲がりフィルムづまりの原因となります。
 - 必ずフィルムはシール部側から挿入してください。
 - ※フィルムは「すばやく」挿入してください。オートリバース機能が作動してローラーが逆転する場合があります。

6.フィルム排出口よりラミネートされて出てきます

-
- フィルムが背面のフィルム排出口から完全に出てきてからフィルムを取り出し、平らなところに置いて冷ましてください。
 - ラミネート直後のフィルムは高温になっています。やけどには十分ご注意ください。
 - ・ラミネート後は速やかにフィルムを取り出してください。フィルム排出口に放置すると、加熱により折れ曲がったりシワになったりします。ラミネート直後のフィルムは変形しやすいですので、取り扱いにご注意ください。
 - ・続けてラミネートする場合は、必ず先に入れたフィルムを取り出してから行ってください。

ラミネートの終了

- 7.ローラークリーニングを行います**
-
- ・作業が一通り終了したら、クリーニングペーパーを数回通してローラークリーニングを行ってください。
 - ・一度にたくさんラミネートする場合は、約10枚に1回くらいの割合でローラークリーニングを行ってください。
- 【 P.10 「ローラークリーニングお知らせランプ、ローラークリーニングの方法」参照】

8.クールダウン状態にします

フィルム選択ボタンとローラー逆転ボタンを同時に長押し(約2秒間)してクールダウンの状態にしてください。約5分経過すると電源が切れます。お急ぎの場合は電源スイッチを「切」にしてください。長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

フィルムづまりや巻き込みのトラブル

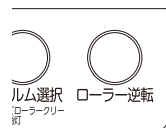
ローラーの汚れ・フィルムに余白が多い・フィルム挿入方向の間違いなどが原因でフィルムづまりや巻き込みが起こる場合があります。オートリバース機能が作動しない場合はすぐにローラー逆転ボタンを押し続けてください。それでもフィルムが取り除けない場合は電源スイッチ「切」にしてください。



注意 ラミネート作業中はそばを離れないでください。上図のような状態に気付かず放置した場合は、フィルムを取り除くことが非常に困難になったり、機械の故障や火災の原因になります。

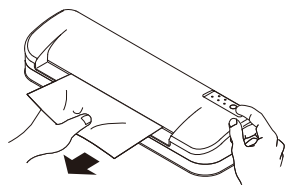
フィルムの取り除き方

1.ローラー逆転ボタンを押し続けます



オートリバース機能が作動せずフィルムづまりや巻き込みが起こった場合や、何らかの原因でフィルムを取り除きたい場合は、ローラー逆転ボタンを押し続けてください。ローラー逆転ボタンを押し続けている間はローラーが逆転します。

2.フィルムを引っ張りながら取り除きます

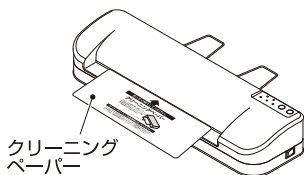


ローラー逆転ボタンを押し続けた状態で、フィルムを軽く引っ張りながら取り除きます。



フィルムは高温になっていますのでやけどには十分ご注意ください。

3.ローラークリーニングを行います



フィルムを取り除いた後は必ずローラークリーニングを行ってください。フィルムがつまると多くの粘着剤がローラーに付着するので、そのまま使用を続けるとフィルムづまりや巻き込みが起こりやすくなります。
【P.10「ローラークリーニングお知らせランプ、ローラークリーニングの方法」参照】

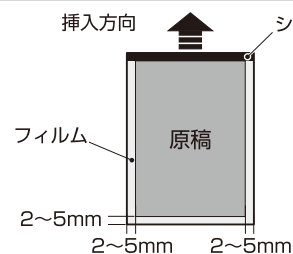
注意 上記の方法でフィルムを取り除くことができない場合は、弊社または販売店にご相談ください。お客様での分解・修理はしないでください。

ラミネートを行う①

ラミネートフィルムの準備

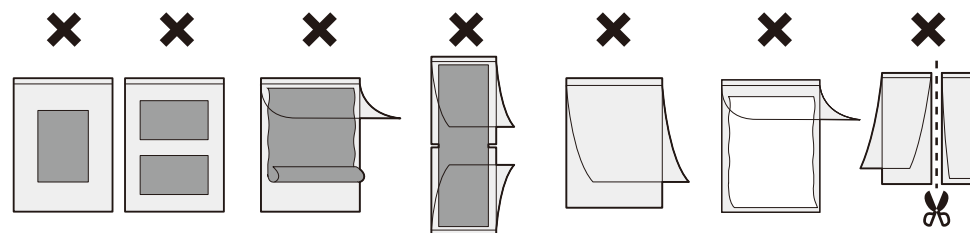
100 μ mおよび150 μ mのラミネートフィルムは弊社製品のご使用をおすすめします。

ラミネートフィルムに原稿をはさみます



ラミネートフィルムは原稿よりも2~5mmくらい大きい物をご用意ください。
原稿はフィルムのシール部に当たるまで差し込んでください。余白が多いとローラーに巻き付きやすくなり、フィルムづまりの原因となります。
ラミネート可能な厚みは、フィルムと原稿を合わせて最大0.6mmまでです。
ただし原稿の厚みが約0.3mmを超える場合は、原稿の周囲が十分に接着されない場合があります。

注意 次のようなラミネートはシワの発生やフィルムづまりの原因となりますのでおやめください。



フィルムに余白が多い

原稿が波うったりカールしている

フィルムを継ぎ足して使用

フィルムのみをラミネートする

半紙等非常に薄い紙

フィルムを切って使用

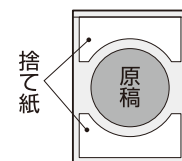
最適なサイズのフィルムがない場合は



最適なサイズのフィルムがない場合は、図のように「捨て紙」を入れてラミネートした後、に不要な部分をカットしてください。



ラミネート後
カットする



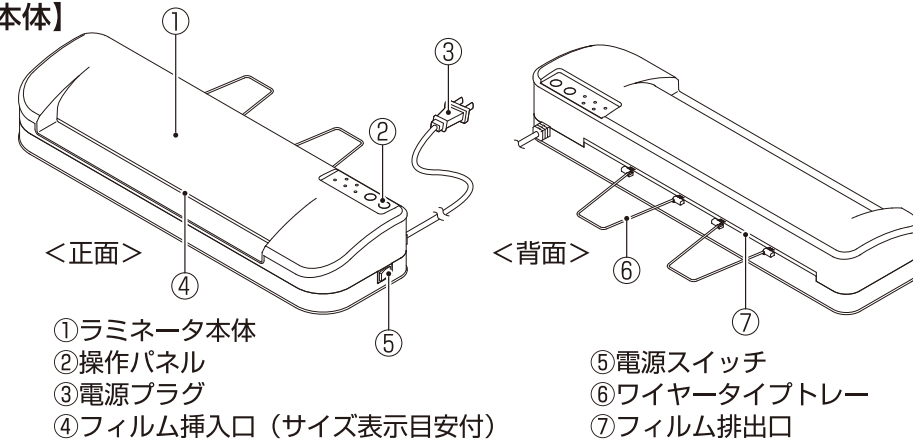
ラミネート後
カットする

故障かな？と思ったら トラブル時のチェックポイント

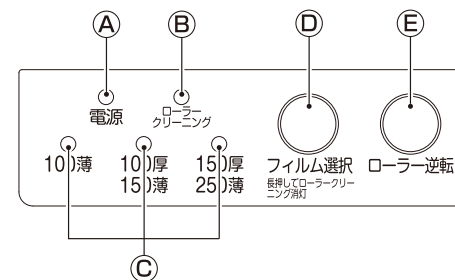
症状	原因／処置
・動かない	<ul style="list-style-type: none"> → 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 → フィルム選択ボタンを押してご使用になるフィルム厚を選択してください。 ▶ P.7
・フィルム選択ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> → 通常、ウォームアップ時間は約60秒で点灯します。室温が著しく低い場合は3分程度お待ちください。 → エアコンの冷風や扇風機の風が直接本機にあたらないようにしてください。
・ウォームアップの時間が60秒より長い	→ 室温は25℃以上の場合でも、本体内部は保管場所などにより25℃以下の可能性があります。そのような場合は、60秒でウォームアップが完了しないことがあります。フィルム選択ランプが点灯するまでお待ちください。
・ラミネートフィルムが入っていない	<ul style="list-style-type: none"> → オートリバース機能が作動していませんか？フィルムは「すばやく」挿入してください。 ▶ P.8 → フィルムと原稿を合わせた厚みが0.6mmを越えたらラミネートできません。 ▶ P.6
・ラミネートフィルムが途中で止まった（カタカタと異音がる）	→ 電源プラグが抜けていませんか？または電源が「切」になっていませんか？
・排出口から出てこない	→ フィルムづまりなどが起きていませんか？ローラー逆転ボタンを押し続けた状態でフィルムを取り除いてください。 ▶ P.9
・フィルムの端が折れて出てくる	→ ローラークリーニングを行ってください。ローラーが汚れているとフィルムの先端が折れて出てきたり、フィルム詰まりの原因になります。 ▶ P.10
・ラミネートフィルムが汚れて出てくる（白い線が付く）	<ul style="list-style-type: none"> → ローラークリーニングを行ってください。 ▶ P.10 → フィルムに付着した粘着剤の汚れは中性洗剤で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しないでください。
・フィルムが詰まる	<ul style="list-style-type: none"> → 原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。 ▶ P.6 → ローラークリーニングを行ってください。ローラーが汚れているとフィルムづまりや巻き込みの原因になります。 ▶ P.10 → 反っている原稿や極端に薄い原稿をラミネートするとフィルム詰まりの原因になります。 ▶ P.6 → 100μmおよび150μmのフィルムは弊社製品のご使用をおすすめします。フィルムの特性が合わないとき正しくラミネートできない場合があります。

各部の名称と働き

【本体】



【操作部】



- A 電源ランプ**
電源を入れるとランプが点滅し、本体内部のローラーが加熱状態になると点灯します。
- B ローラークリーニングお知らせランプ**
ローラークリーニングが必要なときにランプが点灯します。
【▶ P.10「ローラークリーニングお知らせランプ、ローラークリーニングの方法」参照】
- C フィルム選択ランプ (3パターン)**
選択されているフィルム厚が点滅します。ウォームアップが完了(約60秒後)すると「ピー」と鳴って点灯に変わりラミネートが可能な状態になります。ウォームアップ後にフィルム厚を変更した場合ランプは点灯のままです。
- D フィルム選択・ローラークリーニングお知らせランプ消灯ボタン**
ご使用になるフィルム厚を3パターンの中から選択します。ボタンを押すと「ピッ」と鳴って選択されているフィルム厚のランプが点滅します。また、ローラークリーニングお知らせランプが点灯している場合は長押し(約2秒間)すると「ピッ」と鳴ってローラークリーニングお知らせランプを消灯します。

- E ローラー逆転ボタン**
ボタンを押し続けると「ピッピッピッ…」と鳴ってローラーが逆転します。フィルムづまりや巻き込みが起こった場合に使用します。
【▶ P.9「フィルムづまりや巻き込みのトラブル」参照】

※ その他のボタン操作(クールダウン)
フィルム選択ボタンとローラー逆転ボタンを同時に長押し(約2秒間)すると「ピー」と鳴って加熱が停止しクールダウンの状態になります。(本体内部のローラーは回転を続けます) 約5分経過するとローラーも停止し電源が切れます。再度ご使用になる場合は、電源スイッチを「切」にしてから再度「入」にして電源を入れてください。

【オートリバース機能について】
オートリバース機能とは、挿入口と排出口の2つのセンサーでフィルムの通過を監視し、一定時間排出口センサーがフィルムの通過を検知しない場合は自動的にローラーが逆転し、フィルムづまりや巻き込みを防止する安心機能です。
フィルムづまりや巻き込みが起こりオートリバース機能が作動した場合は「ピッピッピッ…」と鳴ってローラーが逆転します。

ラミネートQ&A

Q1：写真をラミネートしても大丈夫？

A：問題ありません。ただし、インスタント写真は撮影後数日はローラーの圧力で写真の中の水分が漏れ出すことがあります。一週間程度待って写真が十分に乾燥してからラミネートしてください。

Q2：カラーコピーやカラープリンタで作成した原稿をラミネートしても大丈夫？

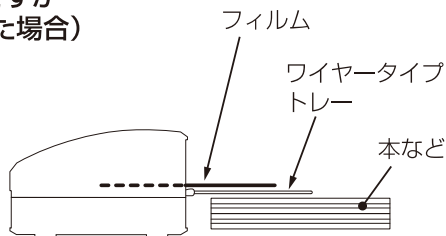
A：カラーコピー、インクジェットプリンタ・熱転写プリンタ等は問題ありません。ただし昇華型熱転写プリンタで作成した原稿は時間経過により、像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

Q3：作業途中でフィルム選択を変更する場合は？

A：フィルム選択ボタンを押して使用するフィルム厚を選択してください。フィルム選択は本体にフィルムが入ってないときに行ってください。

Q4：ラミネートしたフィルムが反るのですが… (トレーより長いフィルムを使用した場合)

A：ラミネート直後のフィルムは軟らかくなっているので反ることがあります。よりきれいに仕上げるためには、トレーの下に本などを積んでフィルムがまっすぐ出てくるようにしてください。



注意 フィルム排出口をふさがないように、高さには十分ご注意ください。

本体のお手入れ

本体カバーは柔らかい布で乾拭きしてください。
※中性洗剤・化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

	お手入れの際には必ず電源プラグを抜いてください。
	機械に直接水をかけての掃除、ベンジン・シンナー・アルコール等は使用しないでください。
	本体カバーを取り外してのお手入れはしないでください。感電や故障の原因となります。
	機械の内部や外部の掃除などに可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。

安全上の注意事項 安全のため必ずお守りください

この取扱説明書には製品を安全に正しくお使いいただき、事故や損害を未然に防止するために絵表示を使用して注意事項を記載しています。次に絵表示の内容と意味を表記しますので、理解してから本文をお読みになり本機を使用してください。

警告 この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

禁止事項を示します。禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、ケガを負う危険があります。禁止の内容を の中に絵文字で示します。

要請事項を示します。要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。要請の内容を の中に白抜き絵文字で示します。

機械を使用する際の保守上の注意及び補足や参考を示します。

機械の設置上の注意事項

注意 ●機械の設置上の注意事項

次のような場所への設置は避けてください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・極端に温度や湿度が高いまたは低い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所
- ・ほこりや振動の多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所

機械の上に物を置かないでください。本体上部は高温になるため、置いた物が変形したり、機械の故障の原因となります。

機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

警告 ●機械のご使用上の警告事項

表示された電源・電圧以外で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災・感電の恐れがあります。

熱に弱い敷物の上や燃えやすい物の近くで使用しないでください。火災や機械の故障の原因となります。

お子様や乳幼児の手の届く所に設置しないでください。やけど、感電の恐れがあります。